



資料提供
平成25年3月4日
ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会
(文化芸術課内)
担当者 永島
内線 2725
直通 082-227-5043

World Peace Concert “HIROSHIMA” 2013 「クラシックの夕べ」出演アーティスト決定！

～「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクト～

1 「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトの概要

- 国際平和の拠点形成に向け、広島から世界へ平和のメッセージを強く発信し、平和貢献活動を持続的に支援する仕組みを構築するため、「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトを展開しています。
- 本プロジェクトのメインイベントとして「World Peace Concert “HIROSHIMA” 2013」と銘打ち、平成25年7月下旬から8月上旬にかけて、クラシックやポップスなど様々なジャンルのコンサートを開催し、併せて、平和のイベント「ピースフィールド」や国際会議など同時開催します。

2 2夜連続で開催。「クラシックの夕べ」出演アーティストが決定！

- 7月29日(月)、30日(火)の2夜連続で開催するクラシックコンサート「クラシックの夕べ」の主な出演アーティストが決定しました。
- 「ピース・アーチ・ひろしま」の趣旨に賛同いただいた、世界的に活躍されているクラシック界の著名アーティストの皆さんにご出演いただくことになったものです。

「クラシックの夕べ」概要

《第1部》(平成25年7月29日開催) ※出演者は今後追加発表する場合があります。

タイトル	クラシックの夕べ 《第1部》 ～トップソリストと広響が広島の地から平和を発信～
開催日時	平成25年7月29日(月) 開演18:30(予定)
場所	上野学園ホール(広島市中区白島北町19-1)
出演者(予定)	○スタニスラフ・ブーニン(ピアノ) ○佐藤しのぶ(ソプラノ) ○秋川雅史(テノール) ほか 【指揮】現田茂夫(神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者) 【管弦楽】広島交響楽団 【司会】檀ふみ

《第2部》(平成25年7月30日開催) ※出演者は今後追加発表する場合があります。

タイトル	クラシックの夕べ 《第2部》 ～世界で活躍するアジアの奏者たちによるドリームオーケストラ！ 日本の若手ソリストとともに平和への想いを奏でる～
開催日時	平成25年7月30日(火) 開演18:30(予定)
場所	上野学園ホール(広島市中区白島北町19-1)
出演者(予定)	○アジア・フィルハーモニー管弦楽団 【指揮・音楽監督】チョン・ミョンフン (フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、シュターツオペレ・ドレスデン首席客演指揮者) ○萩原麻未(ピアノ) ○小林美恵(ヴァイオリン) ○橋本杏奈(クラリネット) 【司会】檀ふみ

※ やむを得ない理由により、出演者等が変更される場合があります。

※ 前売券の発売は5月頃の予定です。決定次第別途ご案内します。

3 出演アーティスト

【クラシックのタベ ～第1部～，平成25年7月29日開催】

広島で世界平和を願う音楽家たちの想いがつながる！
世界で活躍するトップソリストと広島交響楽団の共演が実現！

- スタニスラフ・ブーニンさん、佐藤しのぶさん、秋川雅史さんのクラシック界のトップソリストが、広島で育まれたプロオーケストラ広島交響楽団とコラボレーション。復興と平和の象徴である広島から、平和への祈りを世界に発信します。



スタニスラフ・ブーニン（ドイツ，ピアノ）

- 1966年モスクワ生まれ。ロン＝ティボー国際コンクールに17歳で優勝。85年第11回ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝。99年ヨーロッパにおける演奏活動が評価され“Viotti d'Oro賞”を受賞。
- 2011年7月「スタニスラフ・ブーニン・チャリティー・ガラ・コンサート」を開催、収益金はすべて東日本大地震・津波遺児基金に寄附。
- 2012年4月には、NHK「TOMORROW beyond 3.11」に出演し、被災地を訪問、高校音楽部と共演するなど、多くの人々の共感を得た。7月には北朝鮮による拉致被害者家族会を支援するコンサートを開催、被害者の1日も早い救出を訴えた。



さとう 佐藤 しのぶ（日本，ソプラノ）

- 文化庁オペラ研修所を最年少、首席で卒業。「メリー・ウィドウ」「椿姫」でデビュー。芸術家在外研修員としてミラノへ留学。ウィーン国立歌劇場での「蝶々夫人」を皮切りに、ケルン市立歌劇場やベルリン・ドイツ・オペラなど主要な歌劇場で主役を歌う。共演したオーケストラは、ローマ・サンタチェチーリア国立アカデミー管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団など多数。2005年8月『被爆60年平和巡礼コンサート』（長崎・広島）に出演。
- CD13種類をリリース。CDや著書の収益は世界の恵まれない子供たちの為に、現地の井戸や学校教室の設立、医療等に役立てられ、現在は東日本大震災の義援金として寄付を行っている。



あきかわ まさふみ 秋川 雅史（日本，テノール）

- 1967年愛媛県西条市生まれ。4歳よりヴァイオリンとピアノを始める。のちに父の指導のもと声楽の道へと転向。国立音楽大学・同大学院にて中村健氏の指導を受けたあと、4年間イタリアのパルマでデリオ・ボレンギ氏に師事。帰国後、第九のソロや数々のコンサートに出演。1998年カンツォーネコンクール第1位、日本クラシック音楽コンクール最高位をそれぞれ受賞。その後、数々のテレビ・ラジオ番組等に多数出演。
- 2006年「千の風になって」をリリース、同年、第57回NHK紅白歌合戦に初出場、2007年1月シングル「千の風になって」でオリコンシングルチャート1位を獲得、130万枚もの売り上げとなる。年間100本近くのコンサートを精力的に実施中。現在、日本で最も実力、人気を供えたテノール歌手として活躍し続けている。



げんだ しげお 【指揮】 現田 茂夫

- 東京生まれ。東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。1996年より13年間神奈川フィルを指導し飛躍的に躍進させ、その功績により2009年より神奈川フィル名誉指揮者。他、国内主要オーケストラも指揮し好評を得ている。世界的チェリストの故口ストロボーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等でも共演し高評を博す。
- オペラ指揮者としても経験豊かで、海外の劇場での指揮も行ない、イタリアのペドロッチェ国際指揮者コンクールの審査員やラジオペラパーソナリティなどマルチな才能を生かして多岐にわたる活動を行っている。



【管弦楽】 広島交響楽団

- 1963年に「広島市民交響楽団」として発足。その後「広島交響楽団」と改称し、1972年のプロ改組以来、中・四国唯一の常設プロオーケストラとして活躍の場を拓いている。広島を中心に日本各地での公演はもとより、海外においても平和と希望のメッセージを発信し続けている。
- これまでに「広島文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」を受賞。



だん 【司会（7/29，7/30）】 檀 ふみ（日本，女優・声優・司会者・エッセイスト）

- 映画「男はつらいよ・寅次郎純情詩集」「山桜」ドラマ「日本の面影」「藏」他、数多くの作品に出演する一方で、「N響アワー」「新日曜美術館」の司会で音楽や美術の楽しさを、「日めくり万葉集」では古典のすばらしさを伝えてきた。コンサートの司会も定評がある。エッセイも好評で「ああ言えばこう食う」は第15回講談社エッセイ賞を受賞。他に「父の縁側、私の書齋」「檀ふみの茶の湯はじめ」等。近著は「檀流きもの巡礼」

【クラシックのタベ ～第2部～，平成25年7月30日開催】

文化，宗教，政治，言語を越え，音楽を通じて互いに理解し，認め合う。
平和への想いを一つにした演奏家たちの奏でるハーモニーが，世界平和の架け橋に。

- 世界中のオーケストラで活躍するアジアの奏者たちが集結する，あの「アジア・フィル」が初来広！世界のマエストロ チョン・ミョンフンさんのタクトが友情と敬愛，そして世界平和への願いを奏でます。
- 広島出身のピアニスト萩原麻未さん，クラリネティスト橋本杏奈さんなど，若い世代のアーティストが広島から平和のメッセージを届けます！



©Jean-Francois Leclercq

チョン・ミョンフン（韓国，指揮）

- 1953年ソウル生まれ。ピアニストとしてキャリアをはじめ1974年チャイコフスキー国際コンクール第2位。その後，指揮者としての活動を開始。1989年パリ・オペラ座バステューの音楽監督就任以来，ウィーン・フィル，ベルリン・フィル等のオケや，テアトロ・フェニーチェやウィーン国立歌劇場等でのオペラ指揮を中心に多忙な日々を送る。フランス国立放送フィル，アジア・フィルおよびソウル・フィルの音楽監督を兼任。シュターツカペレ・ドレスデン首席客演指揮者。
- 指揮者として1995年以来数多く来日，東京フィルやN響との演奏会ほか，海外オケとも頻繁に来日し，最も親近感のある演奏家のひとり。2009年に非営利財団MOM（ミラル・オブ・ミュージック）を創設。アジア諸国の平和と友好を願い，アジアの若い音楽家の育成・支援を目的に尽力。

アジアフィルハーモニー管弦楽団

- 言語も文化も異にするアジア各国の演奏家たちが，ひとつのオーケストラの中で調和を図ることで，アジアから世界に向け友好と平和を発信して行こうと，1997年に指揮者チョン・ミョンフン氏が提唱・創設。設立公演は日本で行われ，たちまちアジアにおける最高のオーケストラのひとつと数えられることとなった。
- 世界各国の著名オーケストラで活躍するアジア人演奏家が参加。毎年，夏の1週間ほどの短い期間に3～4公演しか行われないにもかかわらず，アジアのみならず世界中で着実に意義が認められ，その名を根付かせている。
- 世界最高峰のオーケストラ「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」の第一コンサートマスターを務めるヴァイオリニスト榎本大進氏も「アジア・フィル」の一員として参加。



はぎわら まみ 萩原 麻未（日本，ピアノ）

- 広島市出身。5歳よりピアノを始め，「みはらジュニアピアノコンクール5～6歳の部」でpf会賞を受賞。その後，中国ユースピアノコンクールで最優秀賞を受賞するほか，国内有数のコンクールで入賞を重ね，13歳で第27回バルマード国際コンクールにて第1位に輝く。
- 広島音楽高等学校を卒業後，パリ国立高等音楽院に入学，同音楽院修士課程を卒業。2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール優勝。その後，パリ地方音楽院室内楽科を卒業し，現在モーツァルテウム音楽院に在籍。

©Akira Muto



こばやし みえ 小林 美恵（日本，ヴァイオリン）

- 東京芸術大学附属高校から大学に学ぶ。1983年第52回日本音楽コンクール第2位。1984年海外派遣コンクール河合賞受賞。1988年にはシュポア国際ヴァイオリン・コンクール第2位，あわせてソナタ賞を受賞。国内でも東京芸大安宅賞を受賞した。
- 1990年ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝し，以来，リサイタル，オーケストラのソリスト，室内楽等で日本を代表するヴァイオリニストとして活躍し，CDも多数リリース。昭和音楽大学の教授をつとめ，後進の指導にもあたっている。

©Akira Muto



はしもと あんな 橋本 杏奈（日本，クラリネット）

- 1989年生まれロンドン在住。9歳より6年間王立音楽大学ジュニア部にてC.ハインに師事。日本では14歳で第3回ヤング・クラリネティスト・コンクール（18歳以下）1位，第6回日本クラリネット・コンクールに最年少（中学3年）で入選。12歳より英国各地で演奏活動を行い15歳でイギリス室内管弦楽団とコンチェルト・デビュー以来同オーケストラと度々共演。第1回コルトレイク国際クラリネット・コンクール1位，第7回カールリーノ国際クラリネット・コンクール最高位受賞。王立音楽院に在籍，特待生としてマイケル・コリンズの下に研鑽を重ねている。